

今はじめれば未来が変わる。みんなの活動を紹介します。

県内各地で環境活動の芽が出てふくらんでいます。あなたも積極的に参加してみませんか。毎年恒例の行事もあるので、ぜひ来年は参加してみてくださいね。

01 「自然エネルギーの普及と地域づくり」セミナーと 使い終わった天ぷら油がエコ燃料に！「BDF」セミナーが開催されました。

7月10日に青森市のアスパムにてNPO法人グリーンエネルギー青森主催で、「市民が主役の自然エネルギー普及～国内外の事例報告」と題したセミナーが開催されました。

本セミナーでは、市民が主役の自然エネルギーを広げる取組について、和田武氏（立命館大学産業社会学部教授 / 市民共同発電所全国フォーラム代表）に、国内外の事例を紹介していただきました。また、対談や質疑応答などで問題を掘り下げ、生活の向上や地域づくりなど自然エネルギー普及が社会にもたらすさまざまな影響について学び、その普及へ向けて市民一人一人ができることを模索しました。

7月20日、鯉ヶ沢町で、鯉ヶ沢町エコ推進協議会主催で軽油の代わりに使うことのできる「BDF」（バイオディーゼル燃料）のセミナーが開催されました。

家庭での廃食油を生成してできる BDF は、化石燃料と違って再生可能な地球にやさしいエネルギーです。今はほとんどが燃えるゴミとして固めて捨てられていますが、この廃食油を再利用できれば、温暖化防止だけでなく、ゴミの減量にも役立ちます。

当日は NPO 法人 EGG の粕谷弘陽氏を迎え、BDF の取り組み事例を紹介し鯉ヶ沢町での活用可能性を探りました。



04 「コスモ アースコンシャス アクト クリーン・キャンペーン」 が浅虫で開催されました。

コスモ石油とエフエム青森をはじめとする JFN 38 局は、地球環境の保護と保全を目的とした活動を展開しています。6 回目となる今年は、7月8日にサンセットビーチあさむしエリアの清掃活動が実施されました。

当日参加の 127 名の家族連れからは、ガラス瓶、花火の燃えカスなどを拾いながら、「ゴミはなるべく持ち帰るか、きちんとゴミ箱にすてほしい」「地元のできれいな海のままだがいい」「きれいにすればかりでなく、みんなできれいにしていけばいいと思う。」などの感想が聞かれました。

清掃終了後は、「マニ☆ラバ」のライブも行われ、参加者はきれいになった海岸で楽しいひとときを過ごすことができました。

主催：(株)エフエム青森、コスモ石油株式会社



自分達で出したゴミは自分達の責任で処理すること、ふるさとの美しさを守る大切さなど、新たな意識と行動のきっかけになるイベントですね。



02 八戸市立是川小学校で「省エネ教室」が開催されました。 ～学校から家庭、地域への省エネ活動の普及をめざします～

7月20日、八戸市立是川小学校で省エネルギーセンターからの講師を招いての省エネ教室が4年生の児童を対象に開催されました。

これは全国の小中学校 30 校を対象に行われているもので県内では同校と吹上小学校での開催が決まっています。各校 3 回ずつのプログラムが組まれており、1 回目の今回は事前に行ったエコライフチャレンジアンケートの調査結果をふまえ、地球温暖化の問題に迫りました。

暮らしには多くのエネルギーが必要であること、それらを作る化石燃料には限りがあることを学んだ子どもたちからは、「僕たちには暑い地球と気持ちのいい地球の 2 つの未来がある、気持ちのいい地球

を選べるようにがんばっていききたい」「夏休みにほうちの人と一緒にできることから工夫をしていきたい」などと積極的な意見が出されました。このニュースが出るころには、どんなエコライフに挑戦しているか、楽しみです。



05 「第 2 回八戸市環境展」が開催されました。

7月1日、八戸市公民館・公会堂にて「循環型都市の実現をめざして」をテーマとして第 2 回八戸市環境展が開催されました。当日は第 2 回はちのへエコ大賞の表彰式、八戸市立青潮小学校児童による環境演劇、環境漫才師による記念講演、市庁とこどもたちのエコトーク、循環型都市宣言など盛りだくさんの内容でした。

中でも盛り上がったのは、小松左京原作の小説を環境問題に置き換えた青潮小学校児童による環境演劇。宇宙人が自分たちが住みたい星として選んだ地球がどんどん汚染されていくのを見て、地球人に与えた宿題を見事解答し、地球を守るというもの。5 年生児童 160 人総出演による熱演に会場からは大

きな拍手があがっていました。

記念講演では環境カウンセラーで環境漫才師の林家ライス・カレー子さんが、「環境問題はお友達」と題してエコのスパイスを織り交ぜて楽しい漫才を披露してくれました。

市長とエコレンジャーによる循環型都市宣言では市民一人一日あたりのごみ排出量を 1,000g 以内をめざすことが宣言され、来場者にはスーパーのかごにジャストフィットのエコバックが市民にプレゼントされました。子どもから大人まで楽しめる内容で来場者からは来てよかった、来年も参加したいとの声がしきりでした。



03 平川市立竹館小学校の PTA 成人講座で 「地球温暖化防止についての講座」が開催されました。

7月2日、平川市立竹館小学校で「地球温暖化～私たちにできること～」と題して PTA と児童 81 人の皆さんに向けた講座が開催されました。

この講座は津軽地区のアースレンジャー（青森県地球温暖化防止活動推進員）5 人が子どもたちにもわかりやすい先進事例やツールを用いて、温暖化防止は、決して難しいことではなく、ふだんの生活の中で一人一人が心がけて取り組むことが大切、と伝えました。

当日は家電製品の消費電力量が簡単に測定できるエコワットの使い方やアクリルたわしや、ふるしきの活用法など暮らしに密着した具体的な方法が紹介されました。

また、子どもたちは、「総合的な学習の時間」に勉強した「北極の氷がとけ出した話」や「海に沈むツバメの話」にも興味津々でした。

竹館小学校は「環境のためにできることから取り組もう」と、大学や企業の出前講座、エネルギー教育コーディネーター専門家派遣制度などを活用し、総合的な学習に環境教育を盛り込んでいます。

目指す子ども像は「自ら関わろう、技能や判断力を身につけよう、自分の生き方を見つめながら責任ある行動をとろうとするこども」とのこと。ぜひこれからも地域との関わりを大切に進めていってほしいですね。



06 あおもりの自然、みんなで守っていきましょう！ ラムサール条約湿地「仏沼」フォーラムが開催されました。

7月9日、三沢市公会堂大ホールにて県と三沢市及び三沢市教育委員会と共催で、ラムサール条約湿地「仏沼」に関するフォーラムが開催されました。

仏沼は昨年 11 月 8 日にラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）湿地に登録されました。この登録を契機として、広く皆様に仏沼の自然を紹介し、理解を深めてもらうとともに、ラムサール条約の基本理念である「保全と賢明な利用」の在り方などを考えるため、フォーラムを開催。当日は（財）日本野鳥の会会長で俳優の柳生博さんの特別講演もありました。

「花鳥風月の里山」と題して行われたこの講演で柳生さんは子供たちに向けて「仏沼をはじめとする地域の自然の素晴らしさを世界で語れる大人になってほしい」と熱く語られました。

その後「住民参加による保全・管理の賢明な方法について」と題して NGO ラムサールセンター副会長の武者隆幸さんをコーディネーターにパネルディスカッションも開催されました。

また会場ではラムサール条約登録池の紹介や「おがわら湖の自然史」の PR パネルも展示されました。参加者からはあらためて仏沼の大切さが分かりました等の感想が寄せられました。

